



## 企業の重要情報を トータルに守るセコム

個人情報の漏えいが相次ぐ中、4月1日には「個人情報保護法」が完全施行され、企業における厳正な情報管理の重要性はますます高まっています。セコムでは、顧客情報など企業の機密情報保護のために、オンラインセキュリティシステム、出入管理システム、監視カメラシステムなどのフィジカルセキュリティとサイバーセキュリティを組み合わせ、トータルな情報セキュリティを提供しています。



We are SECOM.

セコムグループの目標

「社会システム産業」の構築

# 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、日ごろよりセコムグループの活動にご支援をたまわり、誠にありがとうございます。

第44期の弊社事業報告書をお届け申し上げます。

2004年度の連結売上高は5,472億円(前期比3.8%増収)で過去最高の実績となり、セキュリティサービス事業、メディカルサービス事業、保険事業、情報・通信・その他の事業の全セグメントにおいて増収を達成しました。営業利益は830億円(前期比2.2%増益)、経常利益は834億円(前期比9.5%増益)と、ともに過去最高益を更新しました。また、当期純利益は前期比18.0%増益の485億円となりました。

同じく単体の売上高は2,977億円(前期比3.2%増収)、営業利益は660億円(前期比2.8%増益)、経常利益は662億円(前期比6.5%増益)、当期純利益は377億円(前期比10.0%増益)と、いずれも過去最高となる成果を収めました。

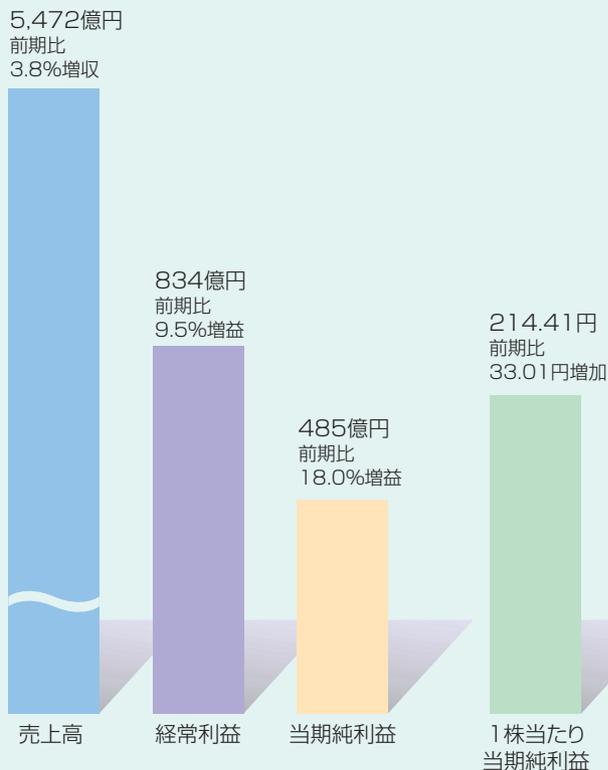
今後も、社会のニーズにいち早く対応して“あらゆる不安のない社会”の実現に向け、企業目標である「社会システム産業」の構築をより加速させてまいります。株主のみなさまには一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2005年6月

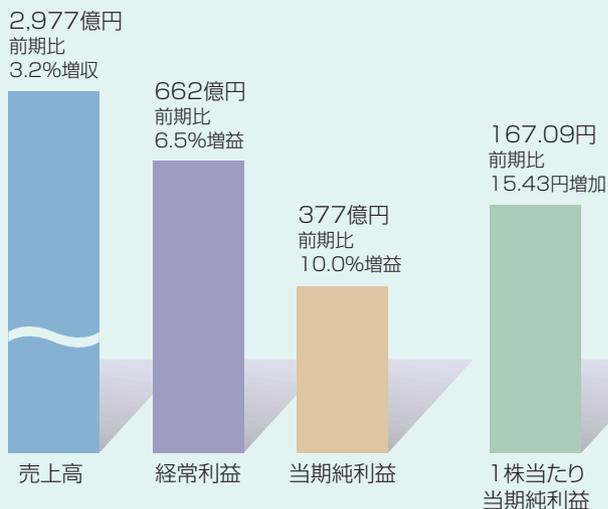
セコム株式会社代表取締役社長

原口 兼正

## ■2004年度の業績(連結)



## ■2004年度の業績(単体)



# 営業力の強化と効率化の促進で 新たな発展をめざす



セコム株式会社 代表取締役社長  
原口兼正

セコムグループの新たな発展へ向けて行動を開始した原口新社長に、「2004年度の連結業績」「セコムのセキュリティの現況」「個人情報保護法の影響」「セコムグループの課題」等について聞きました。

Q セコムグループの2004年度の連結業績について概括をお願いします。

（ 全ての事業分野で  
前期の売上高を更新 ）

2004年度の日本経済は、民間設備投資の増加など景気回復基調から始まりましたが、自然災害や個人消費の伸びの鈍化などから、景気回復はゆるやかなものになりました。

こうした状況のなか、セコムグループは「社会システム産業」の本格展開に向けて、新しいサービス・商品の提供や販路の拡大を行い、セキュリティサービス事業を拡充させました。また、メディカルサービス事業、保険事業、情報・通信・その他の事業の拡充を図るとともに、それらの事業の融合を進め、付加価値の高いサービス・商品の提供に努めました。

この結果、2004年度の連結売上高は5,472億円、前期比3.8%増加、営業利益は830億円、前期比2.2%増加、経常利益は834億円、前期比9.5%増加となり、当期純利益は、特別損失に固定資産の減損損失など101億円を計上し、特別利益に固定資

産売却益など113億円を計上したため、485億円、前期比18.0%増加となりました。

これらを事業別に見ると、セキュリティサービス事業の売上高は3,775億円、前期比3.2%増加、営業利益は947億円、前期比2.9%増加。メディカルサービス事業の売上高は254億円、前期比15.9%増加、営業利益は、高齢者向け施設などの事業への先行投資もあり、前期と比べ3億5千万円減少の6億円。保険事業の売上高は299億円、前期比3.5%増加、営業損益は、台風による被害で支払い保険金が増加したため、25億円の営業損失。情報・通信・その他の事業の売上高は1,142億円、前期比3.4%増加、営業損益は前期2億円の営業損失から、当期は39億円の営業利益となりました。

セコム単体については、売上高が2,977億円、前期比3.2%増加、営業利益は660億円、前期比2.8%増加、経常利益は662億円、前期比6.5%増加、当期純利益は377億円、前期比10.0%増加となりました。

**Q** セコムの現況、特に事業所向けセキュリティと家庭向けセキュリティの状況をどのように捉えていますか。

**( マイナス要素の減少により  
事業所向けにも明るい兆し )**

2004年度の事業所向けオンラインセキュリティシステムの

契約件数の伸張率5.2%は、安全意識の高まりやシステムに対する評価の高さからすると満足できるものではありません。しかし、昨年あたりから営業環境が変化してきました。ひと頃、金融機関が合併したり、支店を統廃合したり、あるいは高度経済成長時代に出先を増やされたご契約先がその再配置をされたりしましたが、昨年はそうした動きが一巡し、その一方で順調に新規契約が増加してこの伸張率になったもので、そういう意味では明るい兆しが現れ始めたと考えています。現に、この3~4月はセンサーなどの設置工事の人手が足りなくなるなど嬉しい悲鳴を上げたほどです。こうした状況が続いていけば今年が高業績が期待できると思っています。



●「セコムAX」の画像センサー

## （ ホームセキュリティでも 積極的な営業を展開 ）

最近、他社が盛んに宣伝しているホームセキュリティは、簡易システム、すなわちセンサーの数を最少にしたものです。たしかにこうした簡易型にすれば価格は安くなりますが、仮にセコムが提供している標準的なホームセキュリティと同数のセンサーを設置した場合は当然ながら価格は高くなります。

そうした価格で市場に参入してきた他社に対して、セコムは当初から「安全は高品質でなければならない」という考えからセキュリティの質を訴求して、お客様を増やしてきました。そのお客様に富裕層が多かったのは、セコムがホームセキュリティを販売し始めた頃は今のように治安が悪くなく、経済的にゆとりのある方から導入が始まるというごく当たり前の背景があったためです。

また、ここ数年、富裕層を狙った強盗事件が多発したため、強盗の抑止を目的にしたセキュリティシステムに対するニーズが高まりました。そこで、セコムでは、ホームセキュリティに付加するシステムとして、ハンマーで叩いてもなかなか割れない防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」や、敷地内に侵入した不審者を画像で監視して適切に対処する「屋外画像監視サービス」などを開発し、提案してきました。

そうした活動と他社の宣伝があいまって、セコムのシステムは富裕層向け、他社のシステムはそうではないというイメージが広がっていきました。しかし、セコムでは、マンションにお住まいの一人暮らしの若い女性、30～40代の若い世代から、中高年のご家族まで幅広い層にホームセキュリティをご提供しているのが実体です。ただ、残念ながらそのことをご存じでない方が多いのも事実です。そこで、家庭向け安全システム・商品を、あらゆるニーズに対応して積極的に販売していこうと考えています。



●「屋外画像監視サービス」の画像センター

Q 個人情報保護法のセキュリティへの波及効果についてはどのように見えていますか。

## （ 情報セキュリティだけでなく出入管理や オンラインセキュリティ拡販のチャンス ）

たとえば、非接触型ICカードや指紋照合システム「セサモIDs」などの出入管理システム、監視カメラシステムなどの売り上げが好調ですが、これは個人情報保護法を契機に、人の出入りを厳重に管理したいというニーズが高まったことによります。特に今年の3～4月は大規模な出入管理システムの売り上げが伸び、事業所向けセキュリティの売り上げ全体を見ると、オンラインセキュリティシステムなどの継続収入に対して、このところ安全商品などの売却収入の伸びが目立ちます。

同様にサイバーセキュリティも好調に推移していますが、私は個人情報保護法の施行で、従来から提供してきたオンラインセキュリティシステムの需要がかさ上げされるような気がします。これまではオンラインセキュリティの導入をお客様にお勧めしても、「現金は置いていないし、盗まれるようなものは何もないから不要」と言われることが多かったのですが、事業所にはパソコンはもとより顧客リストや顧客から回収した書類、たとえばアンケート結果などがあり、これらを盗まれたら大問題に発展することになります。ですから、個人情報保護法との関連でオンラインセキュリティシステムの需要も伸びると見えています。

Q 外出先の安全・安心を守る位置情報提供サービス「ココセコム」が好調のようですね。

## （ インフラ整備費などの償却が進み 今年度から利益体質に転換 ）

ランドセルメーカーの㈱協和と提携して商品化した「ココセコム」付きランドセルがヒットしました。実は2年ほど前にも1度、ある流通グループと提携して販売したことがありますが、そのときはほとんど反応がありませんでした。それが今回反響が大きかったのは、この2年ほどの間に子供の連れ去りなどの事件が相次ぎ、その抑止策として「ココセコム」がたびたび新聞などで取り上げられ、広く知られるようになったからでしょう。このように、「ココセコム」は昨年あたりから急速に契約件数が増え、インフラ整備などにかかった経費の償却も進み、さらに社内で進めている合理化が実を結んで、今年度に入ってから利益体質に転換しました。今後、セコムグループの業績に大きく貢献してくれるものと期待しています。



●通報サービス付き「ココセコム」

Q セコムグループの当面の課題とそれを実現する方策についてお話しください。

## （ 顧客の開拓・維持に全力投球し シェアアップをめざす ）

セコムグループは非常に合理的で無駄のない会社だと思っていましたが、昨年12月から見直しを始めたところ、そうでない部分があることが分かりましたので、まず効率化を促進していきたいと考えています。さらに、すべての事業を利益体質にすること

が課題ですが、売り上げを伸ばすことも重要です。それを実現するために、構造的なコストダウンを図り、それによって生じた資金を売り上げ増大と効率化促進に使う。そのための方策をいま社内でも検討しているところです。

セコムは創業してすぐは競合会社がなかったので市場を独占していましたが、その後競合会社が現れて、あるシェアになり、それでも十分に成長することができましたが、その後マーケット全体が大きく成長したのでシェアの取り合いはそれほど目立ちませんでした。それがここへきて競争環境になり、シェアを大きくアップする可能性が出てきました。競争によって普及が加速するでしょうし、家庭向けセキュリティのマーケットはまだ未開拓な部分がたくさん残っていますが、事業所向けの市場はすでにご契約先の入れ替わりの時代が始まっているからです。

この競争に勝たなければなりません、私はそのための戦略の一つとして、原価に弾力性を持たせることを考えています。セコムはこれまで価格を厳しくコントロールしてきました。ゆるめると営業員が価格競争を始め、価格体系が崩れてしまう恐れがあったからです。しかし、セキュリティ業界も競争環境に突入した今、費用対効果の観点から柔軟に価格をコントロールしていく必要があると思っています。

これからセコムグループにとっていい時代が始まりそうな予感がします。最近の消費動向を見ると高くても欲しいものは買われています。つまり、セコムのサービスの質が本当に必要とされるなら必ず売れる、そういう時代が来るのではないかと、思っています。問題はこの好機をどう捉えていくかですが、ハッキリしていることは、新規のお客様を獲得し、既存のお客様をいっそう大切にしていくことです。そして、セコムのシェアをさらに高いレベルに引き上げていきたいと考えています。

# 連結決算報告

## ●連結貸借対照表(要旨)

(2005年3月31日現在)

単位:億円

資 産 の 部	
流 動 資 産	5,082
現金及び預金	2,466
コールローン	100
受取手形及び売掛金	501
未収契約料	162
有価証券	732
たな卸資産	409
短期貸付金	463
その他	245
固 定 資 産	5,891
有 形 固 定 資 産	2,235
建物及び構築物	728
警報機器及び設備	641
土地	651
その他	215
無 形 固 定 資 産	275
投 資 そ の 他 の 資 産	3,380
投資有価証券	2,430
長期貸付金	429
繰延税金資産	185
その他	334
繰 延 資 産	0
資 産 合 計	10,975

負 債 の 部	
流 動 負 債	2,462
支払手形及び買掛金	156
短期借入金	1,081
未払金	189
未払法人税等	161
前受契約料	285
その他	586
固 定 負 債	3,772
社 債	409
長期借入金	145
預り保証金	287
退職給付引当金	126
保険契約準備金	2,782
その他	21
負 債 合 計	6,234
少 数 株 主 持 分	321
資 本 の 部	
資 本 金	663
資 本 剰 余 金	825
利 益 剰 余 金	3,465
株 式 等 評 価 差 額 金	81
為 替 換 算 調 整 勘 定	△171
自 己 株 式	△445
資 本 合 計	4,419
負債、少数株主持分及び資本合計	10,975

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 主な連結子法人等の紹介

### ●セコム上信越(株)

1967年5月に設立。新潟市に本社を置き、新潟、長野、群馬の3県をエリアとする上信越地方最大のセキュリティ会社。2002年2月に東証二部上場。セキュリティ事業のほか、在宅介護サービスの提供など、医療や情報分野にも積極的に取り組み、「社会システム産業」の構築をめざしています。

### ●セコムテクノサービス(株)

1970年5月に設立。本社は東京都中野区。1999年10月に東証二部上場。セコムの安全システム工事を中心に、電気設備などの建築設備を施工。また快適なビル環境の実現に向けて建築設備のメンテナンスを核に、設計から施工、維持管理までの一貫したトータルサービスを提供しています。

### ●セコム医療システム(株)

2002年3月、セコムグループのメディカル事業

を統合し設立。セコムグループのメディカルサービスを統轄しています。訪問看護や在宅介護サービスのほか、ITを駆使したわが国初の医療機関向け遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」や、電子カルテなど、独自のメディカル事業を展開しています。

### ●セコム損害保険(株)

1998年9月、東洋火災海上保険(株)にセコムが資本参加。現在はセコム損害保険(株)としてセコムが筆頭株主となっています。セコムグループのシナジーを

## ●連結損益計算書(要旨)

(2004年4月1日から2005年3月31日まで)

単位:億円

売 上 高	5,472
売 上 原 価	3,414
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,227
<b>営 業 利 益</b>	<b>830</b>
営 業 外 収 益	119
営 業 外 費 用	115
<b>経 常 利 益</b>	<b>834</b>
特 別 利 益	113
特 別 損 失	101
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>847</b>
法人税、住民税及び事業税	287
法人税等調整額	41
少数株主利益	33
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>485</b>

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### 〈参考〉

- ・連結子法人等の数 123社
- ・持分法適用関連会社数 31社
- ・1株当たり当期純利益 214.41円

最大限に活かし、がんを治すための自由診療保険「メディコム」や、現場急行サービスも行う「NEWセコム安心マイカー保険」など、業界他社とは異なるセコムグループならではの保険商品を販売しています。

### ●セコムトラストネット(株)

サイバーセキュリティ事業の戦略的展開を図るため、2000年4月に設立。ネットワーク上の情報を守るサイバーセキュリティ、電子商取引や電子申請に不可欠な高度電子認証サービスを提供。また物理面・サイバー面双方で世界最高水準の

セキュリティを誇るセキュアデータセンターでは、4大金融グループの電子認証局構築・運用を受託しています。

### ●(株)バスコ

1999年8月にセコムグループ入りした、地理情報サービスと航空写真測量の東証一部上場企業。欧米をはじめ世界に共同開発拠点を置き、グローバルなネットワークを構築。システム技術、測量・計測技術、建設コンサルタント技術の3つの技術を融合した新情報サービスを提供し、さらに新規

## ■営業の概況(連結)

当期の連結売上高は5,472億円(前期比198億円、3.8%の増収)、連結営業利益は830億円(前期比17億円、2.2%の増益)、連結経常利益は834億円(前期比72億円、9.5%の増益)、連結当期純利益は485億円(前期比74億円、18.0%の増益)となりました。

当グループの各事業の種類別売上高は次の通りとなっています。

### ●セキュリティサービス事業

3,775億円(前期比 3.2%増)

### ●メディカルサービス事業

254億円(前期比 15.9%増)

### ●保険事業

299億円(前期比 3.5%増)

### ●情報・通信・その他の事業

1,142億円(前期比 3.4%増)

### ●連結売上高合計

5,472億円(前期比 3.8%増)

(注)金額は外部顧客に対する売上高で、億円未満を切り捨てて表示しております。

市場を開拓しています。

セコム

### ●西科姆中国グループ

1992年12月設立。本社は北京市。1993年7月、西科姆中国有限公司は、日本企業初の持ち株会社としての認可を取得。現在、大連、上海、北京、青島、深圳で展開する中国グループの本社の役割を持っています。

上記5市で、各地の現地法人と合併でセキュリティ会社を設立し、オンライン安全システムを提供しています。

# 単体決算報告

## ●貸借対照表(要旨)

(2005年3月31日現在)

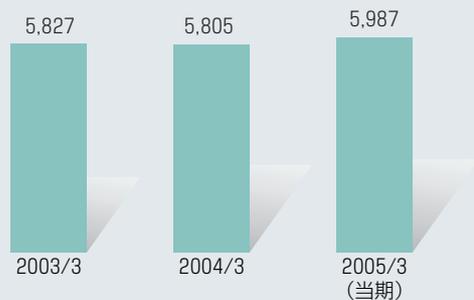
単位:億円

資 産 の 部		
流 動 資 産		2,138
現金及び預金		1,354
未収契約料		90
売掛金		62
たな卸資産		77
短期貸付金		419
その他		134
固 定 資 産		3,848
有形固定資産		1,267
建物		239
警報機器及び設備		598
土地		351
その他		78
無形固定資産		85
投資その他の資産		2,495
投資有価証券		545
子会社株式・出資金		1,335
長期貸付金		173
長期前払費用		203
繰延税金資産		104
その他		133
資 産 合 計		5,987

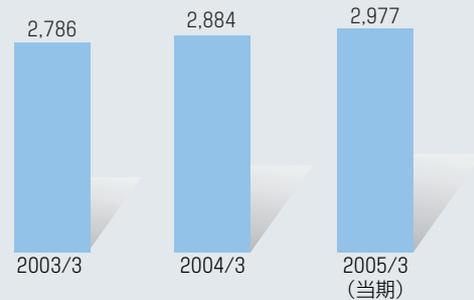
負 債 の 部		
流 動 負 債		1,186
買掛金		21
短期借入金		314
未払金		133
未払法人税等		102
預り金		311
前受契約料		217
その他		86
固 定 負 債		537
社債		300
預り保証金		180
退職給付引当金		57
負 債 合 計		1,724
資 本 の 部		
資 本 金		663
資 本 剰 余 金		825
利 益 剰 余 金		3,188
株 式 等 評 価 差 額 金		30
自 己 株 式		△ 445
資 本 合 計		4,262
負 債 及 び 資 本 合 計		5,987

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

■ 総資産(億円)



■ 売上高(億円)



## ● 損益計算書(要旨)

(2004年4月1日から2005年3月31日まで)

単位:億円

売 上 高	2,977
売 上 原 価	1,645
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	672
<b>営 業 利 益</b>	<b>660</b>
営 業 外 収 益	62
営 業 外 費 用	60
<b>経 常 利 益</b>	<b>662</b>
特 別 利 益	10
特 別 損 失	59
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>	<b>613</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	199
法 人 税 等 調 整 額	37
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>377</b>
<b>前 期 繰 越 利 益</b>	<b>2,690</b>
<b>当 期 未 処 分 利 益</b>	<b>3,067</b>

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### <参考>

- ・1株当たり当期純利益 167.09円  
(期中平均株式数により算出してあります)

## ■ 営業の概況(単体)

当期の売上高は2,977億円(前期比92億円、3.2%の増収)、営業利益は660億円(前期比17億円、2.8%の増益)、経常利益は662億円(前期比40億円、6.5%の増益)、当期純利益は377億円(前期比34億円、10.0%の増益)となりました。

## ● 利益処分

単位:億円

### 当期末処分利益の処分

当 期 未 処 分 利 益	3,067
買 換 資 産 圧 縮 積 立 金 取 崩 額	0
<b>計</b>	<b>3,067</b>
上記金額を次のとおり処分します。	
株 主 配 当 金 (1株につき50円)	112
取 締 役 賞 与 金	1
<b>次 期 繰 越 利 益</b>	<b>2,954</b>

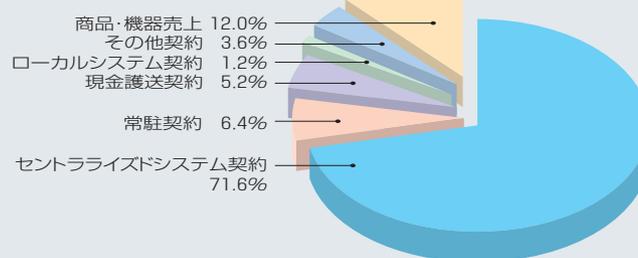
(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

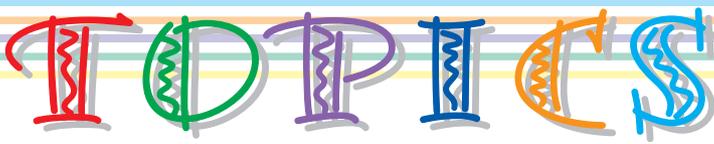
## ■ 当期純利益(億円)および1株当たり当期純利益(円)

※1株当たり当期純利益は、期中平均株式数により算出してあります。



## ■ 部門別売上高内訳 2005/3(当期)





セコムは、企業や家庭にとって安全で、便利で、快適なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の構築を企業目標としています。各事業分野で「安全・安心」を核としたサービスを展開し、シナジーを発揮しながら、企業目標の達成にまい進しています。

## わが国初の情報専用セキュリティ 「セコム情報プロテクト24」サービスを開始

セコムは、「情報」を守るべき対象として明確に位置づけ、24時間365日、さまざまな環境下で安全を守るわが国初のセキュリティサービス「セコム情報プロテクト24」を5月から販売開始しました。

4月1日から完全施行された「個人情報保護法」により、企業において「情報」は、守るべき対象としては最重要なものひとつとなっています。しかしながら、「情報」のセキュリティは、これまで部分的な対策が中心でトータルな対策はとられてきませんでした。



今回新たにサービスを開始する「セコム情報プロテクト24」は、①オンライン権限更新・ダウンロードサービス、②非接触ICカード、指紋照合システムを利用した出入管理システムの新「セサモTR」、③IDカードによるセット・解除の操作者・時刻のデータを提供する警備データ提供サービス、④ICタグ(重要な機器や情報メディアに貼付)を利用した機器管理システム、⑤ココセコムを利用したトランクやケースの開閉監視サービスから構成されています。

今後、順次サービスを開始し、セコムならではの高度でトータルな情報セキュリティサービスを提供していきます。

## (株)リコーとの協業で 「トータルオフィスセキュリティ」を販売開始

セコムは、オフィスの情報漏えい対策を網羅的に行う「トータルオフィスセキュリティ」を、株式会社リコーと共同で販売していくことで合意。6月からリコーグループの販売会社で販売を開始しました。

「トータルオフィスセキュリティ」では、オフィスの入退室管理をはじめとする「フィジカルセキュリティ」、不正アクセスやコンピュータウイルスから情報資産を守る「ネットワークセキュリティ」、さらに電子データだけでなく紙文書の管理まで含めた「ドキュメントセキュリティ」など、オフィスの情報漏えい防止に向けたさまざまなセキュリティ対策を一元的に提供します。

今回の協業で、両社の事業ノウハウを結集することにより、既存顧客に対する商材の相互供給はもとより、ICカードをベースとしたオフィス

セキュリティやe文書化における新たな商品・サービスの開発など、戦略的かつ広範囲な事業展開を予定しています。

## セコムオリジナルのシステム金庫 「ピタゴラス」シリーズのラインアップを一新

セコムは、1982年から販売しているオリジナルのシステム金庫「ピタゴラス」シリーズのラインアップを4月から一新しました。

個人情報保護法の施行にともない、各企業では「個人情報」の適正な管理、利用が義務付けられ、情報の重要な保管場所である金庫のセキュリティは、より高度な性能が求められています。

こうした中、セコムでは、「ピタゴラス」シリーズにより高度な防盜性を追求しつつ、新たなラインアップを追加。新たに販売を始めた「スーパーピタゴラス」は、ガスバーナーや電動工具を使った破壊行為にも対応し、極めて高い防盜性を実現しています。

また従来品のサイズのバリエーションを豊富にするとともに、耐火性能も従来の1時間から2時間へとアップ。家庭用のシステム金庫「ホームピタゴラス」も防盜性、耐火性とも大幅に向上し、より信頼性が高まりました。

販売開始以来、お客様のさまざまなニーズ、社会動向にあわせて、随時バリエーションを追加してきた「ピタゴラス」シリーズは、今回さらなる進化を遂げ、より高度なセキュリティを企業・家庭に提供します。



## 山口県美祢市のPFI刑務所運営事業を セコムを代表企業とした12社が落札

山口県美祢(みね)市のPFI(民間資金を活用した社会資本整備)による刑務所運営事業(正式には「美祢社会復帰促進センター整備・運営事業」)の落札者の発表が、4月22日、法務省からあり、セコムを代表企業とした12社で構成する「美祢セコムグループ」に決定しました。

今回の新設刑務所は、わが国初のPFI刑務所で、50数カ所の誘致自治体から山口県美祢市が選定され、約28ヘクタールの未利用地に、約千人を収容する刑務所をPFI方式で建設することが決定。3グループが参加しての一般競争入札により、「美祢セコムグループ」に事業者が決

定しました。

受刑者の現在位置を確認できるICタグや位置情報提供サービス、遠隔操作が可能な電子錠など、効率的・効果的な警備ができる最新のセキュリティシステムの提案、効率的運営が可能な施設の構造、矯正教育や職業訓練の充実などが評価された結果、今回の決定にいたりました。



事業期間は20年、約2年間で新刑務所を建設し、2007年4月から受刑者の収容を開始して、官民協働による刑務所運営がスタートします。セコムは、今回の決定により、新事業の拡大はもとより、受刑者の社会復帰・再犯防止策などの業務を通じての社会貢献、同時に地域社会活性化にも貢献します。

## セコムが厳選した防災用品セットの“決定版” 「セコム・スーパーレスキュー」を販売開始



メインセット



ミニセット

セコムは、6月から、セコムショップで展開する防犯・防災グッズ「セコムセレクション」のオリジナル企画の第1弾として、防災用品セット「セコム・スーパーレスキュー」の販売を開始しました。

昨年10月の新潟県中越地震や今年3月の福岡県西方沖地震では、甚大な被害が発生し、また今年1月には阪神・淡路大震災から10年目を迎えたことから、防災に対する社会の関心が高まっています。

こうした中、セコム独自の新たな防災用品セットを開発するため、新潟県中越地震や、阪神・淡路大震災で被災経験のある社員に防災用品に関するアンケートを実施。地震にあったときに、何が役に立ったか、何があればよかったかなどを重要度・性能・実用性などの面から、防災用品をセキュリティのプロの目で徹底的に吟味し、防災用品セットの“決定版”として「セコム・スーパーレスキュー」を商品化しました。

「セコム・スーパーレスキュー」には、ご主人様用のメインセットと、奥様やお子様用のミニセットの2種類があり、「1人が震災直後1日から2日間生き延びられる」ようセット化。両セットとも、各々のすべての防災用品を非常持ち出し袋に入れ、お客様のお手元に届き次第、防災用品の備えができるようにしました。

4月から先行販売していた「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先を中心に好評をいただいております。

## セコム医療システム(株)の 会員制健康管理サービス 「セコム健康くらぶKENKO」を開始

セコム医療システム(株)は、医療法人社団あんしん会と提携し、5月9日、会員制健康管理サービス「セコム健康くらぶKENKO」を開始しました。

「セコム健康くらぶKENKO」は、あんしん会が東京・四谷に開設したクリニック「四谷メディカルキューブ」(写真右)で、人間ドックサービスや担当医による健康管理サービスを提供。ガンや脳卒中といった生活習慣病の早期発見、予防に対し、先端医療機器を備えたクリニックで、質の高い、きめ細やかなサービスが受けられます。



「セコム健康くらぶKENKO」のサービス開始と「四谷メディカルキューブ」のオープンに先立ち、5月6日には、現地で記者説明会と見学会を開催。約30名の報道関係者にサービスの概要と最新設備が紹介されました。

「四谷メディカルキューブ」内には、「健診センター」「画像診断センター」「きずの小さな手術センター」「内視鏡センター」「ウィメンズセンター」「会員制健康管理センター」という6つの特長あるセンターを開設。さらに、最上階の7階には「食育の世界のパイオニア」として知られるソシエテミクニがプロデュースした初めての院内レストラン「ミクニマンスール」もオープンしました。

同フロアには「セコム健康くらぶKENKO」の会員専用サロンを設け、会員の方々には、このサロンで高品質な人間ドックやきめ細かい医療相談などが提供されます。

# 個人情報保護法に対するセコムの取り組みについて

2005年4月1日から、個人情報を取り扱う事業者に対して、個人情報の取り扱い方法を定めた法律「個人情報の保護に関する法律」が完全施行されました。

セコムは創業以来、セキュリティ会社として当然の責務であるお客様の個人情報等の機密の保持について、社内規程を設け厳格な管理を行ってまいりましたが、本法律の施行を受け、このたび「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」を策定し、個人情報保護についてのセコムの方針を宣言いたしました。

詳細は、セコムのホームページ (<http://www.secom.co.jp/>) に掲載しておりますが、本誌面で以下のとおりその概要をご紹介します。

## セコムの「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」の概要

- セコムは、サービス、商品の内容に応じて、個人情報の利用目的を具体的に明示し、利用目的以外の利用を行わない。
- セコムは、セコムとグループ各社の製品、サービスの提供・紹介などの目的で個人情報を共同利用する。
- セコムは、法律で認められる場合を除き、個人情報を第三者に提供しない。
- セコムは、不正な手段で個人情報を取得しない。
- セコムは、契約者から契約者本人の個人情報の開示などの要求があった場合、本人確認を厳格に行った上で対応する。
- セコムは、個人情報漏えいなどの防止措置を適切に行う。
- セコムは、従業員および委託先に対して、個人情報の取り扱いに関する教育・監督を行う。
- 個人情報に関する問い合わせ窓口は、セコム（株）本社総務部とする。

セコムの「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」の詳細は  
<http://www.secom.co.jp/>

# セコムのホームページを一新

まだインターネット黎明期の1995年、セコムは他社に先駆けてホームページ制作を進め、同年12月には「セコム・インフォマリーナ」の名で、待望のホームページを開設しました。以来、大幅な改定、改良を加え、さまざまな展開を進めてきましたが、このたび全面的に見直し、リニューアルしました。



<http://www.secom.co.jp/>

5月16日、セコムのホームページが新しく生まれ変わりました。これまでセコムでは、企業情報サイト「セコムウェブサイト」と商品・サービス情報サイト「セコムタウン」の二つにわけて、それぞれの情報をご紹介してきました。

そのため、二つのサイトのどちらを見れば良いのかなど、お客さまにとって、使い勝手の良くない場合もありました。

そこで今回、「セコムウェブサイト」と「セコムタウン」を一つにまとめ、新たに「セコムウェブサイト」として、よりわかりやすく、より楽しんでいただける作りに一新しました。

## ポイントは、次の通りです。

- ①配色を統一。すっきりとしたシンプルなデザインに変更しました。
- ②お客さまや投資家、学生の方々など、それぞれの目的に応じて必要な情報にスムーズにたどりつけるよう、情報の中身と量、使いやすさを工夫し、わかりやすいナビゲーションにしました。
- ③お客さまとのコミュニケーションを重視し、常に目立つ位置に「お問い合わせ」や「お近くのセコム」「よくあるご質問」などのコンテンツを表示。さらに「資料請求」フォームを大幅に見直し、一括請求機能を追加するなど利便性を向上させました。
- ④単なるサービス・商品情報だけでなく、「セコム・セキュリティ入門」と題し、家の内外での防犯から、防火、家庭内事故・救急処置、地震対策まで、生活に役立つ知識を学ぶコンテンツもご用意。「防犯対策といっても何をすればいいの?」「地震の備え、日ごろの心構えは?」といった素朴な疑問にお答えし、セキュリティや防災の基本をわかりやすく紹介しています。

また「強盗が怖い」、「愛車の盗難が心配」といったお客さまの不安を具体的に表示。セコムでは、どのように解決できるか、お客さまのニーズにあわせたサービスや商品をご覧いただき、安全強化の具体策を提案しています。

さらに法人向けコンテンツも充実しました。詳しくは次ページ以降で紹介しますので、ぜひこの機会に「セコムウェブサイト」をご利用ください。

# セコムのホームページ「セコムウェブサイト」 装いも新たにリニューアルオープン!

セコムのホームページは5月16日、大幅な改定を加え、装いを新たにしました。ここでは、その主な内容をご紹介します。

▶ <http://www.secom.co.jp/>



## ● 「セコム・ホームセキュリティ」

1981年、日本初のホームセキュリティを開発。以来、積み上げてきたノウハウをもとに、セコムならではの7つの特長を一つひとつ紹介しています。



## ● 「ココセコム」

2001年4月の販売開始から、サービスの対象を拡げ続ける「ココセコム」。人用や車、オートバイ用、さらにはペット用、荷物・貨物用などのさまざまなサービスを紹介しています。

## ▶ 個人のお客さま

### ● セコム・セキュリティ入門

「セキュリティの基本を知る」をテーマに、家の内外での防犯から、防火、家庭内の事故や救急処置まで、セキュリティの基本をやさしく解説しています。

### ● セコムで不安を解決する

空き巣や強盗、火事、誘拐。周囲に潜むさまざまな危険から身を守る安全対策を提案しています。



## ▶ 法人のお客さま

● オフィスビルや金融機関、工場、マンションなど、建物の規模や業務内容に応じたセキュリティシステムや各種商品をご用意。大切な財産と生命を守る、さまざまな商品ラインアップの中から、セコムができる安全対策を施設規模などにあわせ紹介しています。





## ▶ サービス・商品

6つのカテゴリーの中から、セコムグループが提供するサービス・商品の詳細を紹介しています。

- **「家・店舗・オフィスのセキュリティ」**  
家庭や企業を取り巻くさまざまな脅威に、あらゆる角度から応えできるサービス・商品を掲載。
- **「外出時や車のセキュリティ」**  
大切な人、車などを見守る、位置情報提供サービス「ココセコム」を紹介。
- **「情報セキュリティ」**  
個人情報の流出、ホームページの改ざん、不正アクセスなど、企業内および企業間ネットワークや電子商取引を安全に進めるためのセキュリティを提案。
- **「保険」**  
セキュリティ事業と損害保険事業を組み合わせ、より質の高い独創的な保険商品を紹介。
- **「医療・福祉」**  
在宅医療や在宅介護、遠隔画像診断支援、電子カルテなど、セコムがお届けするメディカル事業を掲載。
- **「食品・健康」**  
安全で安心な暮らしをサポートするために、セコムがご提供する食品や健康食品などを紹介。



## ▶ 会社情報

- **「会社案内」**  
社長メッセージをはじめ、企業理念、会社概要など、セコムグループの最新の情報を随時公開。
- **「報道資料」**  
セコムグループの最新情報と過去の報道資料を掲載。
- **「IR情報」**  
アニュアルレポートや有価証券報告書、決算短信、事業報告書など投資家向けの財務情報を掲載。
- **「採用情報」**  
新卒採用やキャリア採用などのリクルート情報を掲載。

- **「社会貢献活動」**  
環境保全活動、科学技術振興、地雷除去支援活動など、セコムグループが推進する社会貢献活動を紹介。
- **「スポーツ活動」**  
国内リーグ最高峰のトップリーグに所属するセコムラグビー部や、世界のひのき舞台へ立つまでに実力をつけてきたセコム柔道部の活動を紹介。
- **ブランドコンテンツ**  
セコムの創業から、日本初のオンラインセキュリティシステムの開発、海外進出、医療事業、保険事業への進出など、ターニングポイントとなったセコムの歴史をたどりながら、事業コンセプトを紹介。

## ▶ コンタクトポイント



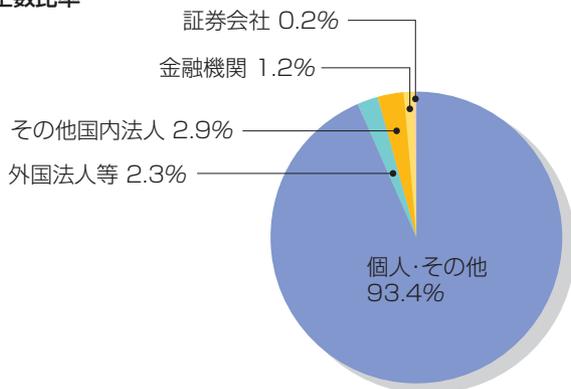
- **「資料請求」**
- **「よくあるご質問」**
- **「お問い合わせ」**
- **「お近くのセコム」** など、お客さまとのコミュニケーションを重視したコンテンツを目立つ位置に表示しています。

# ● 株式情報

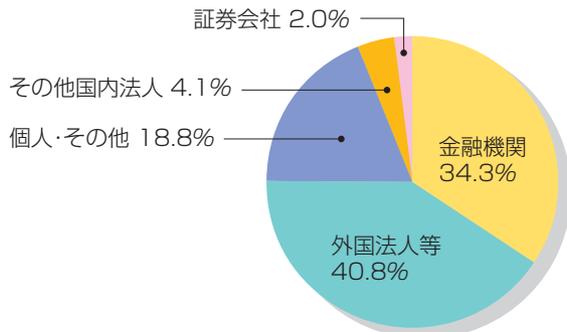
## 株式の状況 (2005年3月31日現在)

1. 会社が発行する株式の総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 1単元の株式数 500株
4. 株主数 21,327名
5. 所有者別状況

### ■ 株主数比率



### ■ 株式数比率



## 株主メモ

- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 6月
- 株主配当金支払株主確定日 3月31日
- 中間配当制度 なし
- 基準日 3月31日  
(その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)
- 公告掲載新聞 日本経済新聞  
〔日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。  
<http://www.secom.co.jp/bspl/>〕
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部  
大阪証券取引所市場第1部
- 証券コード 9735
- 名義書換代理人  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 (郵便物送付、電話照会)  
〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL:0120-707-696 (フリーダイヤル)

## お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

## ●会社概要

### セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1  
TEL:03-5775-8100 FAX:03-5775-8902

### 資 本 金

66,377百万円

### 社員数(グループ総数)

38,011名

### 事 業 内 容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。2001年4月からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、現在、安全システムの普及を通じて培ってきた日本最大級の情報通信ネットワークをベースに、安心で、便利で、快適なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

## ホームページのご案内

●会社情報・IR情報・商品・サービスのご案内、セコムの食などは

<http://www.secom.co.jp/>

## 取締役 (2005年6月29日現在)

取締役(最高顧問)	飯 田 亮
取締役(最高顧問)	戸 田 壽一
取締役(相談役)	杉 町 壽孝
取締役会長	木 村 昌平
代表取締役社長	原 口 兼正
専務取締役	佐々木 信行
常務取締役	桑 原 勝久
常務取締役	前 田 修司
常務取締役	秋 山 勝夫
常務取締役	飯 田 志農
取 締 役	小 幡 文雄

## 監査役 (2005年6月29日現在)

監査役(常勤)	荻 野 輝雄
監 査 役	常 松 健
監 査 役	安 田 弘
監 査 役	山 下 耕平

## 執行役員 (2005年6月29日現在)

取締役会長	木 村 昌平
代表取締役社長	原 口 兼正
専務取締役	佐々木 信行
専務執行役員	田 中 重實
常務取締役	桑 原 勝久
常務執行役員	小 林 清一郎
常務執行役員	小 懸 昇一
常務取締役	前 田 修司
常務取締役	秋 山 勝夫
常務取締役	飯 田 志農
常務執行役員	佐 藤 興一
執行役員	森 誠一
執行役員	井 東 雄志郎
取 締 役	小 幡 文雄
執行役員	伊 藤 博
執行役員	小 河 原 俊二
執行役員	才 田 正明
執行役員	杉 井 清昌
執行役員	高 岡 実弘
執行役員	知 野 吉
執行役員	佐 々 木 守
執行役員	堤 晃
執行役員	東 谷 友男
執行役員	森 下 秀生
執行役員	小 松 崎 常夫

# SECOM®

1km先からでも、  
実際に見えること。

その光は、多摩川河川敷で行った検証実験で、はるか1km先にまで届きました。正体は「フラッシュライト」という小さなランプ。セコム・ホームセキュリティご契約住宅の外壁に取り付けられ、異常が発生したらすぐ点滅し、ご帰宅時の家族に危険を知らせたり、駆けつけた緊急対処員の迅速な発見を助けます。色は実際より大きく見えるオレンジで、デザインは180°の広範囲から認識しやすいカマボコ形。点滅速度はクルマのウィンカー同様、もっとも人間の注意を惹く毎秒1回。小さくてもこだわりがたくさん詰め込まれた、いざというとき頼れるヤツです。



**選ぶなら、妥協しないセキュリティ。だから、ホームセキュリティは、セコム。**

お問い合わせは24時間・365日受付中。 **0120-025756** [www.secom.co.jp](http://www.secom.co.jp)

あらゆる「不安」のない社会へ。 **We are SECOM.**